

# みどり



校訓 誠実

学校教育目標 ひとすじに たくましく うつくしく



## 令和7年度 最終章 ～「自分探しの旅」開幕～

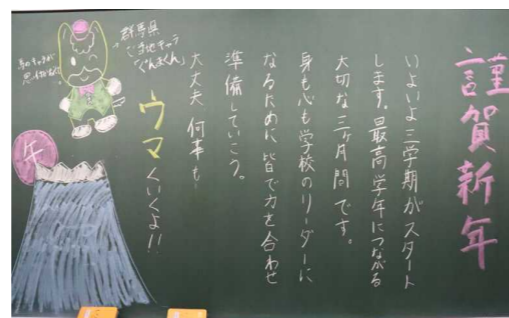


2026年開幕。本年も上小阿仁小中学校をよろしくお願ひいたします。2026年の干支は「午(うま)」で、特に60年に一度の「丙午(ひのえうま)」にあたり、力強さ・躍動感・前進・勝負運などの象徴とされ、「物事がうまくいく」「幸運が駆け込む」縁起の良い年とされているそうです。

さて、1月14日より今年度の最終章がスタートしております。校舎には、子どもたちの元気な声が響き渡り、活気ある姿も随所で見る事ができます。登校日初日の黒板には、各学級担任の先生方から子どもたちへ思いを伝えるメッセージが記載されていました。始業式の代表者2人のあいさつも新年の幕開けを飾る力強いものでした。

3学期の登校日は8～10週(37～45日)と限られていますが、小学校、中学校ともに次の学年に向けた大切な準備期間となります。特に、中学校3年生にとっては義務教育9年間の締めめの学期、同時にこの校舎を巣立つカウントダウンの音を感じながら生活することになります。子どもも大人も「自分探しの旅」の一日一日をより大切にしていきたいものです。

例年よりも積雪がかなり多くなっており、地域の皆様は連日の除雪作業で、疲労が蓄積していることと思います。学校では子どもたちの活躍等を届けながら、地域の皆様の活力源になることができるように努めていきます。それが地域の皆様方のウェルビーイングの向上につながれば幸いです。



<登校日初日の担任メッセージ紹介>



<始業式:児童生徒代表あいさつ>  
小学校3年:畠山絢翔さん  
中学校1年:上杉心絃さん

★始業式等では、学校教育目標やその具体的取組の確認をしたり、学校アンケートの結果から次の目標を確認したりしながら、子どもも大人も「自分」を見つける、振り返る、決める機会としています。

## ウェルビーイング



### 一人一人の幸福感

### 【始業式での校長あいさつプレゼン】 ※一部抜粋

#### ③学期 始業式



学校教育目標  
ひとすじに  
うつくしく  
たくましく

#### ～学校アンケート結果～ (保護者)

- あいさつ・返事・感謝
- 思いやり・助け合い
- ▲けじめのある行動
- ◇家庭学習:小 → 中 ↗

#### ～学校アンケート結果～ (子ども)

- ◇家庭学習:小 ↗ 中 ↘
- 行事&集会等の取組
- ▲清掃活動等に一生懸命
- 自分にはよいところある

# 37 40 45

## 喜怒哀楽



想像してください

### 自分探しの旅



次の旅路に向けて

## <2026年「私の漢字」紹介> 中3

# 旅 知 慣

# 煌

「煌」という字は、輝くほど火が燃えている様子や、光が広がっていく様子を表現しています。私は3月の受検に合格すると、晴れて高校生になります。環境が大きく変化し、新しい世界が待っています。これからの人生をもっと華やかにしていくために、高校では勉強や部活動に燃え、煌めく生活をしたいと思いました。しかし、煌めくためには努力が必要です。人に見えないところでも頑張れるかどうかが大切だと思います。煌めくために努力する1年にしたいと思い、この漢字を選びました。

## <子どもたちの活躍紹介(文化面)>



子どもたちの輝く場面がたくさん報告されています。スポーツ少年団各種競技による活躍は報道機関の紙面等で掲載されているとおりです。ここでは文化面について直近の活躍を紹介いたします。

- ★大館北秋田人権擁護委員協議会 小学生標語 「優秀作品」  
『 **気付かずに 言葉のナイフ 使ってない?** 』 杉渕太陽さん(小6)
- ★第43回北秋田地区少年防犯弁論大会「優秀賞」 三浦 褒さん(中3)
- ★第25回防火防災に関する作文コンクール「佳作」 三浦清香さん(中3)



令和7年度は「地域合同防災訓練」を地域の皆様と実施(5/23)しております。今回は、清香さんの防火作文(一部抜粋)を紹介することで、子どもたちの地域への思いを伝えたいと思います。

～略～ 災害というものはいつどこで起きるかわからない。だからこそ、準備は大切というけれども、準備だけで大丈夫なのだろうか。災害が起きたときには、自分の命は自分で守れと言われている。学校の避難訓練でも毎回のようになら言われている。しかし、それにも限界があるのではないかと。「自助」「共助」「公助」という言葉はよく耳にする。さらに「互助」という考え方も新たに付け加えられている。「当事者の周囲にいる近い人が、自分の発意により手を差し伸べる」とある。自分のことと同じように誰かのために動く、誰かのために活動する。自分の意思で、この考え方が地域を守る。まさに消防団の基本理念ではないか。自助と共助の間にある互助。自分たちのことは、自分たちで守る。地域は地域で守る。  
自分も誰かのために動きたいという気持ちがふつふつ湧き上がっている。昨今のテレビのニュースでは、消防団員のなり手が減少してきていると報じられている。父の後ろ姿を見て、その意志を感じている私は、助けられるのではなく助ける側の一員になりたいと強く思っている。災害は避けて通ることができないからこそ、その気持ちをこれからも持ち続け、今できることに積極的に取り組み、いつかみんなと共に地域を守る一員になる。

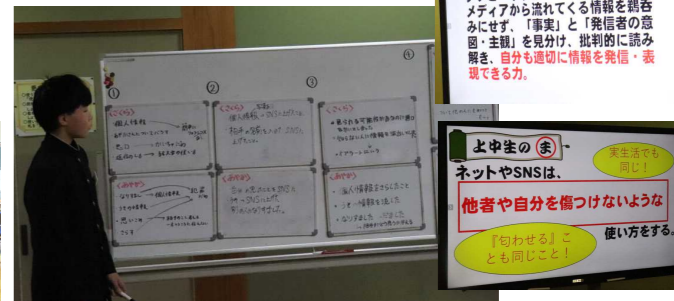
## <日々の授業等の様子(12月)>



12/12 交通安全集会～疑似体験～(小1～3年) こあびよんも登場!



12/18 認知症サポーター養成講座受講(中2年) 受講証をGET!



12/23 ネットリテラシー集会～事例検討～(中学校) 確かな知識、適切な行動、自分を守るために!

12月、学校は校内・校外での学びがとても充実した月となりました。HPに掲載中です。どうぞご覧ください。

#### メディアリテラシーとは?

テレビ・ネット・SNSなど様々なメディアから流れてくる情報を鵜呑みにせず、「事実」と「発信者の意図・主観」を見分け、批判的に読み解き、自分も適切に情報を発信・表現できる力。

上中生の(案) ネットやSNSは、他者や自分を傷つけないような「わかる」とも同じこと! 使い方を学ぶ。